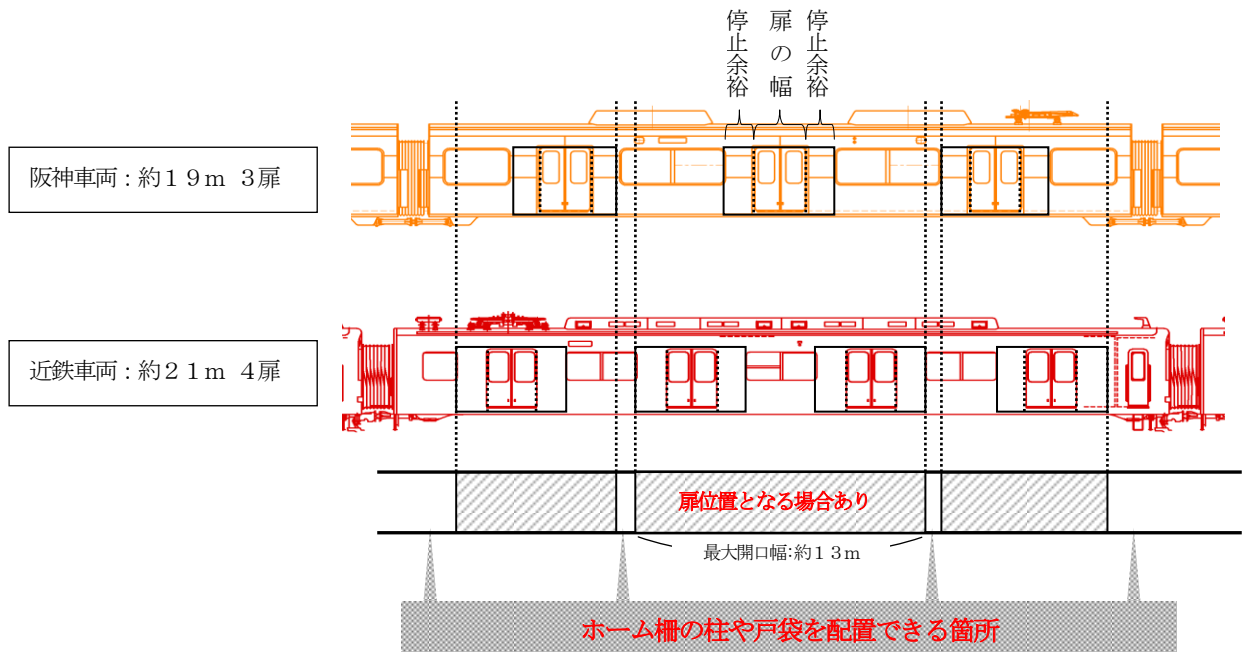


ご参考

## 2番線ホームにおける昇降ロープ式ホーム柵の設置について

2番線ホームに停車する阪神車両と近鉄車両については、車両長が阪神車両は約19m、近鉄車両は約21mであり、乗降扉数が1車両当たり阪神車両は3扉、近鉄車両は4扉であるため、同ホームに可動式ホーム柵を設置する場合に必要なホーム柵の開口幅は最大約13mとなります（下図参照）。ところが、1番線ホーム及び3番線ホームに設置する引き戸型ホーム柵は対応できる開口幅が最大約4mであり、また昇降ロープ式ホーム柵であっても対応できる開口幅は最大約10mであるなど、既存の可動式ホーム柵では技術的に設置が困難でした。

しかしながら、新型ホーム柵等の設置の可能性を継続して検討してきましたところ、この度、昇降ロープ式ホーム柵で、ロープの素材が新たにカーボンストランドへ改良されたものであれば、開口幅が最大約13mであっても対応可能であり、ホーム柵の柱も問題無く配置できることが検証できたため、1番線ホーム及び3番線ホームに続いて2番線ホームにも設置することとしました。



< 2番線ホーム停車時の扉位置イメージ >